

開講科目名 Course	経営財務論研究 (A) / Managerial Finance (A)
時間割コード Course Code	13820
開講所属 Course Offered by	会計学研究科博士前期課程 /
開始年度・学期 Start Year・Semester	2022年度 / Academic Year 前期
曜限 Day, Period	土 / Sat 2
開講区分 semester offered	前期 / .
単位数 Credits	2.0
学年 Year	1,2
主担当教員 Main Instructor	中垣 昇
科目区分 Course Group	関連科目
教室 Classroom	5 4 演習室
講義形式 Lecture Style	講義科目
担当教員名 Instructor (担当教員所属名 Affiliation)	中垣 昇 (会計学専攻)
授業の目標	特になし
授業の概要	<p>グローバル化の進展と情報通信技術の発達に伴い、経営財務（コーポレート・ファイナンス）に関する理論と技法が発達し、適切に対応できる理論およびシステムの構築が求められている。また、世界経済に多大な影響を及ぼす金融危機に対応するため、企業のみならず、公的機関、さらには個人レベルにおいても経営財務に対する関心が高まっている。</p> <p>本講義を通じて、各自が経営財務の理論・技法を学び、経営財務の課題・限界・問題点を考察できるようにしていただきたい。経営財務の学問分野は、数値によって理論構成される領域が多く、演習問題を解くことにより理解がさらに容易になる。適宜課す演習問題には、積極的に取り組んで欲しい。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 経営財務の基礎：経営財務の歴史 2. 経営財務の基礎：基本命題 3. 金融システム：金融市場 4. 金融システム：資本市場 5. 貨幣の時間価値：時間軸 6. 貨幣の時間価値：複利化 7. 貨幣の時間価値：将来価値、年金将来価値 8. 貨幣の時間価値：現在価値、年金現在価値 9. リスクとリターン：比率リターン、金額リターン 10. リスクとリターン：ベータ、資本資産評価モデル 11. 価値：企業価値、社債の価値 12. 価値：株式の価値 13. 資本予算：回収期間、平均利益率 14. 資本予算：純現在価値、内部利益率、収益性指標 15. 資本コスト：源泉別資本コスト
評価方法	<p>[評価方法]</p> <p>出席></p> <p>小テスト30%、期末レポート70%</p>
教員の指導に従わない以外の事由 による失格基準	特になし

授業計画	1. 経営財務の基礎：経営財務の歴史 2. 経営財務の基礎：基本命題 3. 金融システム：金融市場 4. 金融システム：資本市場 5. 貨幣の時間価値：時間軸 6. 貨幣の時間価値：複利化 7. 貨幣の時間価値：将来価値、年金将来価値 8. 貨幣の時間価値：現在価値、年金現在価値 9. リスクとリターン：比率リターン、金額リターン 10. リスクとリターン：ベータ、資本資産評価モデル 11. 価値：企業価値、社債の価値 12. 価値：株式の価値 13. 資本予算：回収期間、平均利益率 14. 資本予算：純現在価値、内部利益率、収益性指標 15. 資本コスト：源泉別資本コスト
テキスト	中垣昇『経営財務の基礎理論』（税務経理協会）
参考書	中垣昇『日本企業と経営者の役割』（税務経理協会）
アクティブラーニング、ディスカッション、実習等	含まない
アクティブラーニング、ディスカッション、実習等の内容	
実務経験のある担当教員による授業	該当しない
担当教員の実務経験を活かした授業の内容	
質問への対応方法	特になし
フィードバックの方法	特になし
予習・復習等、準備学習の内容及び時間	特になし
使用言語	日本語
SDGs 17の目標（1～10）	
SDGs 17の目標（11～17）	
PROGリテラシーの要素	
PROGコンピテンシーの要素	